

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信
2017.06.01 Vol. **12**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	新入会員紹介・訃報	7
米山奨学生オリエンテーション・歓迎会報告	2	会員数および出席報告	8
派遣学生オリエンテーション 報告	3	コーディネーターNEWS	9
新保年度 地区研修・協議会 報告	4	ハイライトよねやま	10
柏崎東 RC 創立 50 周年記念式典	5	米山梅吉記念館便り・ロータリー文庫通信	12
新潟北 RC 創立 40 周年記念式典	6		

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

奉仕の心を高める

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



田植えの済んだ田園の瑞々しい緑色の風景がとても心地よい季節となりました。変わりゆく景色に、時の経つ早さを感じます。皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

私のガバナー年度もいよいよ最終月を迎えました。この一年の歩みを振り返るのは、まだ少し先かと思いますが、今、確かに言えることは、決して自分ひとりの力で歩んできたのではないということです。私自身の気づかないところで、たくさんの会員の皆さまが協力し合い、汗を流し、また、思わぬところで皆さまにご迷惑もかけていると思います。皆さまに対し、素直に感謝と反省の気持ちでいっぱいです。引続き、次の新保清久ガバナー年度への皆さまからのお力添えを切にお願い致します。

さて、6月は「ロータリー親睦活動月間」です。ロータリーの活動を表した言葉に「入りて学び、出でて奉仕せよ」「Enter to learn, Go forth to serve」という言葉があります。一週一回の例会に集い、その例会の場で友情を深め、自己研鑽を図り、その結果として奉仕の心が育まれる、この例会での一連の活動がロータリーの「親睦」です。そして、例会で高められた奉仕の心が各々の職場や家庭、地域社会での奉仕の実践に結びついていくということです。この言葉を、多く会員の皆さまは、ご自身のロータリー活動で経験し、日頃のクラブでの親睦活動を通し、肌身で実感されていると思います。

現在、ほとんどのクラブにおいて、新入会員は親睦活動委員会に配属されると思います。親睦活動委員として、例会ごとに会員同志の親睦を深める活動に従事することによって、一日も早く、多くの会員との融和を図ることを期待しているからです。皆さまのクラブの新入会員の方々が、友情あふれる楽しい例会を通じて、ロータリーの親睦を深め、自己研鑽と奉仕の心を高めて、真のロータリアンとしてご活躍することを心より期待しています。

私自身、ジョン F. ジャーム RI 会長のメッセージを今また読み返し、自分自身の心を高め、一年の歩みを顧みたいと思います。暑い夏をひかえ、皆さま一層ご自愛下さい。

私たち皆が「人類に奉仕するロータリー」を通じて世界をよりよい方向へ変える新しいチャンスを持っているのです。

米山奨学生オリエンテーション・歓迎会

国際ロータリー第2560地区

米山記念奨学委員会

奨学生選考委員長 野崎 裕 (新潟東 RC)

4月22日(土)に新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟に於いて2017年4月から新たに奨学期間をスタートする米山奨学生のオリエンテーションが開催されました。

当日は新保清久ガバナーエレクトのご列席を賜りました。

2017学年度新規米山奨学生18名とカウンセラーは、新保清久ガバナーエレクトの挨拶、そして田中雅史米山奨学委員長の挨拶と続き、オリエンテーションに入りました。

書類選考・個人面接・グループディスカッションと難関を突破してきた優秀な奨学生に対して、オリエンテーションでは、奨学生の義務や責任、世話クラブカウンセラーの意義、世界中に広がる「米山学友会」等々の説明を受けた後、誓約書・同意書に署名をし、カウンセラーから桜をモチーフにした奨学生バッジを胸につけていただき晴れて米山記念奨学生のスタートとなりました。続いて、房文慧(ファン ウェンウィー)学友会会長の挨拶を頂き、継続奨学生3名も合流し、皆さんで記念撮影をして歓迎会へと進みました。

歓迎会は、丹治芳子米山奨学副委員長の挨拶と乾杯でスタートし、当日初めてお会いした奨学生とカウンセラーの皆さん、学友会の理事の各々よりスピーチを頂き、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことが出来ました。中締め挨拶を宇尾野 隆 次年度米山奨学委員長より頂き、全員で「手に手つないで」を合唱して、大いに盛り上がり、お開きとなりました。



奨学生をお引き受けくださった世話クラブ、カウンセラー、学友会、役員の皆様、大変ありがとうございます。奨学生が皆様との交流を通じてロータリー精神を学び、その活動や日本人の心に触れる機会が与えられる中で、奨学生としてふさわしい学生に育っていくことを期待したいと思います。



4月開催派遣学生オリエンテーション

国際ロータリー第2560地区

青少年交換委員長 本間 啓介 (村上 RC)

今年度は春のオリエンテーションを2月に行わなければならなかった関係で4月にもオリエンテーションを行うことになりました。

4月開催オリエンテーションには、田中ガバナーと新保ガバナーエレクトに出席頂き長期交換と短期交換のオリエンテーションを実施しました。

長期交換学生の参加者には韓国へ派遣予定の野口さん、ドイツに派遣予定の有田さん、カナダに派遣予定の米山さんで短期交換学生の参加者は、市川さんと永野さん、野口さんとそれぞれの保護者、スポンサークラブに出席頂き留学中の危機管理に重点にお話しさせて頂きました。

危機管理に関するところでは、ロータリーがどのような仕組みで青少年交換を行っているかを説明し理解してもらいました。ロータリー青少年交換の仕組みがわかることで、もし問題があった場合に誰にどのようにして相談したらいいのかを理解できたと思います。

また、RIJYEC 研修部門委員の倉茂章青少年交換アドバイザーに RIJYEC が交換学生とどのようにかわっているかを説明していただきました。

今回のオリエンテーションの中心はプレゼンの発表でした。交換学生の皆さんには、パワーポイントを使った日本や新潟、自己紹介のプレゼンテーションの練習をしました。

長期交換学生の3人は2回目ということもあり、プレゼンの仕方やパワーポイントの完成度は高く素晴らしい発表でした。特に野口さんは韓国語に磨きがかかり韓国語がわからない私でも聞きやすいと感じました。皆さんに共通していることは原稿を見ずにプレゼンができるように練習していただきたいことです。

短期交換の3人は今回初めての発表でしたのでやはり練習不足とプレゼンの内容に課題山積といったところでした。次回に期待したいと思います。



委員会の仕事としてはこれから出発する学生の安全を守り、来日してる学生の状況を把握し見護ることでありますが今回のオリエンテーションでその役目を十分に果たしていると感じました。今後とも青少年交換委員会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

地区研修・協議会を振り返って

国際ロータリー第2560地区

地区研修・協議会実行委員長 小泉 一樹（新潟万代 RC）

2017年5月17日（日）、国際ロータリー（RI）第2560地区2017—2018年度地区研修・協議会がホテルオークラ新潟において開催されました。

田中政春ガバナーにご臨席頂き、約620名のロータリアンからご出席いただいたことに対し、心から感謝申し上げます。

地区研修・協議会の目的は、次年度のクラブリーダー（会長・幹事、会計、委員長等）が研修を受け、意欲を高める機会であるとされています。

イアン H.S ライズリー次年度 RI 会長は、2017—2018年度のテーマを「変化をもたらす」と提唱されました。ロータリアンが医療・福祉・教育等に対する様々な奉仕活動を通じて、様々な人々と関り、彼らの人生に変化をもたらす、それによって得られる充実感こそが、活動の原動力となっていることを伝えたいのだと思っています。

新保清久次年度ガバナーは、米国サンディエゴにおける研修の帰朝報告を行い、次年度の地区テーマ「**M a k i n g A D e i f f e r e n c e i n M y C l u b a n d O u r D i s t r i c t**（クラブと地区に変革をめざそう）」を具現化するために、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」の3つの優先項目を掲げ、これに沿った地区運営方針について具体的な施策を述べられました。

また、全体会議午前の部の基調講演では、本年度及び次年度 RI 研修リーダー足立功一様（釧路北 RC）から、「ロータリーのグローバル化と未来」と題して、国際ロータリーと日本国内のロータリーの設立とその後の変遷を具体的に述べられ、現在から将来に向かうロータリーの姿についてご教示頂きました。

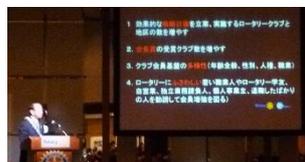
午後は、第1セッションから第7セッションまで、地区役員らと次年度のクラブリーダーの皆様から、クラブと地区がいかに変革を目指して行くのかを学び、活発なご意見を頂き、有意義な分科会であったと思います。

そして、懇親会前のアトラクションは三味線プレイヤー「史佳」（フミヨシ）率いる10人揃えから親子演奏、独演と、津軽三味線の怒涛のような響きを堪能して頂けたと思います。

懇親会は総勢600名が和気あいあいと時間を過ごされ、分区を超えた交流に花が咲き、次年度のクラブリーダー間の親睦が図られたものと思っております。

わが新潟万代ロータリークラブは38名という人員で地区研修・協議会の運営に携わりましたが、コホストクラブの新潟南及び新潟西ロータリークラブの皆さんには、準備段階から当日の運営まで、大変なご支援ご助力を頂きましたことに、紙面をお借りして心から感謝申し上げます。

本当に有難うございました。



柏崎東RC創立50周年記念式典

50周年実行委員長

今井 孝彰（柏崎東RC）

柏崎東RCは、昭和42年10月12日のRI承認・加盟より50年を数え、平成29年4月22日、柏崎市産業文化会館に於いて「奉仕と友愛の半世紀」をテーマに創立50周年記念式典を挙げていただきました。

櫻井柏崎市長、西川柏崎商工会議所会頭、田中ガバナー、パストガバナー、友好クラブである佐渡南RCをはじめ、2560地区内より多くの皆様にご出席いただきました。

記念式典では、徳間会長の「50年の歴史を再認識し、来るべき100周年に向かっての原点を振り返ってみる節目と考え、今後のクラブの発展に努めてまいります。」との挨拶で始まり、ご来賓の田中ガバナー、櫻井市長、西川会頭、橋本スポンサークラブ会長よりご祝辞をいただきました。

続く表彰では40代から49代の歴代会長表彰として、代表の池田40代会長へ感謝状が手渡されました。

また記念事業として、地域社会と連携した「奉仕の理想」を掲げ、青少年が健全に学び成長できることを祈念し、柏崎市の次世代青少年育成事業及び新潟産業大学附属高等学校IACへの寄附と柏崎学童連盟へ学童野球用外野フェンスの寄贈をいたしました。



祝賀会は、植木パストガバナーよりご祝辞をいただき、根岸佐渡南RC会長の乾杯のご発声により開宴。小島のり子・澁谷盛良デュオによるフルートジャズが奏でられる中、来賓の方々、会員皆が和やかに親睦を深めることができました。



最後に、柏崎3RCの合同事務局を長年に渡り務めている、伊原事務局に感謝の花束を贈り、出席者全員で「手に手つないで」を斉唱、本田会長エレクトの閉会の挨拶より、諸行事を無事終了することができました。

ご多忙の中、また、遠方にもかかわらずご来臨賜りました来賓の皆様方、携わってこられましたすべての皆様方に心より感謝申し上げます。

新潟北ロータリークラブ創立40周年記念式典報告

新潟北ロータリークラブ

会長 小林 達(新潟北 RC)

当クラブは、新潟東ロータリークラブをスポンサークラブとして、昭和52年6月30日に国際ロータリーより加盟承認を受け、26名のチャーターメンバーにて発足、本年で満40周年を迎えました。これまでの間、1982年4月23日に大韓民国ソウル冠岳ロータリークラブと姉妹クラブとして、1993年9月27日に群馬前橋北ロータリークラブと友好クラブとして契約を締結し、互いのクラブ交流を通じ親睦を深めて参りました。

去る5月20日に40周年記念式典をANAクラウンプラザホテル新潟にて執り行いました。

開催にあたり、篠田昭新潟市長、趙建熙駐新潟大韓民国総領事、霜鳥雅徳新潟商工会議所副会頭ほか地元ご来賓の皆様、田中政春ガバナーをはじめ歴代のパストガバナー、海外よりソウル冠岳ロータリークラブ、県外より前橋北ロータリークラブ、また県内・市内各クラブよりも多数の会員の方々よりご臨席をいただきましたこと誠にありがたく感謝申し上げます。

式典では40周年を記念して当クラブが地域に根ざした事業として継続支援しております4つの記念事業を行いました。

- ① 福祉施設支援（車いす寄贈）
- ② 難病ALS（筋萎縮性側索硬化症）支援
- ③ 知的障害者支援（スペシャルオリンピックス日本・新潟）フロアホッケーウェア寄贈
- ④ 提唱インターアクトクラブ（東京学館新潟高等学校インターアクトクラブ）支援



各支援先からも御礼の言葉をいただき、今後とも永く支援していくことへの必要性を感じたところです。記念式典の最後にわが新潟北ロータリークラブが誇る「新潟北グリークラブ」10名の美声が会場に響き参加者を魅了しました。

第2部として祝賀会を開催、アトラクションでは、新潟の誇る新潟芸妓の祝舞が華を添え、新潟出身の三味線奏者の迫力ある音色が会場を盛り上げてくれました。そのような中、当クラブの40年の歩みを記した活動記録写真も紹介され会場の皆様に共感を与えると共に当クラブの和を重んじる楽しい一面も感じ入ってくれたようでした。1年に亘る実行委員会の努力が実った一日となりました。改めてご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。

今後も、当クラブはロータリーの友情と奉仕の理念を大切に、50周年、60周年への未来に向け地域社会の奉仕活動や青少年の育成そして国際理解、親善、平和のため地域と共に奉仕活動に取り組んでまいります。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC名	お名前	入会日	会社名
新 発 田	渡 辺 裕 介	2017.05.08	(有)新柳本店
村 上	佐 藤 学	2017.04.06	(株)フォト・スタンプ新潟
村 上	高 橋 聡	2017.04.06	北越運送(株)
村 上	飛 田 野 さと子	2017.04.06	(株)あさひ
新 潟	池 上 茂 樹	2017.04.18	第一生命保険(株)新潟支社
新 潟	藤 井 邦 之	2017.04.25	新日鐵住金(株)新潟支店
新 潟	佐 藤 邦 栄	2017.04.25	(株)千代田開発
新 潟	小 木 將 綱	2017.04.25	(株)ProntoNet
新 潟 東	有 竹 浩 二	2017.04.21	日本生命保険(相)新潟支社
新 潟 南	宮 崎 信 一	2017.05.10	有限会社 宮崎商店
新 潟 北	當 野 篤	2017.05.08	(株)当野不動産
三 条	相 場 弘 介	2017.04.05	あいせき株式会社
三 条	矢 吹 信 太 郎	2017.04.26	東京海上日動火災保険(株) 三条支社
三 条	番 場 太 吉	2017.05.17	(株)日本旅行 燕三条支店
加 茂	久 保 満	2017.04.20	(有)久保
長 岡	保 科 幸 太 郎	2017.04.04	新潟日報社長岡支社
柏 崎	山 鳥 浩 史	2017.04.05	(株)HI 柏崎刈羽原子力発電所 定検工事事務所
柏 崎	大 川 秀 雄	2017.04.05	新潟工科大学
柏 崎 東	森 本 直 樹	2017.04.17	日本生命保険相互会社 柏崎営業所
長 岡 西	中 川 雅 史	2017.04.27	中川酒造(株)
長 岡 西	桜 井 誠	2017.04.27	(株)桜井建工
雪 国 魚 沼	成 瀬 和 徳	2017.04.01	日本生命保険相互会社
津 南	内 山 健 太 郎	2017.05.01	つなん司法書士事務所
高 田	川 崎 直 哉	2017.04.14	国立大学法人上越教育大学

第2560地区 2016-17年度 4月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	4月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	4	83.84	371	369	36	-2
新発田	4	96.82	97	96	0	-1
村上	4	86.84	36	39	9	3
水原	4	76.89	25	26	0	1
中条	4	88.24	35	34	3	-1
新発田城南	4	87.25	40	39	4	-1
豊栄	4	75.92	27	27	3	0
新発田中央	4	76.08	48	47	5	-1
中条胎内	4	87.12	33	33	6	0
村上岩船	4	79.40	30	28	6	-2
第2分区(9クラブ)	4	84.11	440	460	20	20
新潟	4	86.97	92	99	0	7
新潟東	3	84.68	62	63	8	1
新潟南	4	87.85	97	102	2	5
佐渡	4	89.20	7	7	0	0
新潟西	4	85.89	37	41	1	4
佐渡南	4	94.12	42	42	4	0
新潟北	4	57.32	42	43	0	1
新潟中央	4	89.00	25	25	0	0
新潟万代	4	81.92	36	38	5	2
第3分区(6クラブ)	4	73.67	131	125	8	-6
新津	4	70.84	19	18	0	-1
村松	4	95.45	10	11	0	1
五泉	4	79.69	18	17	3	-1
白根	4	79.60	42	40	3	-2
新津中央	4	71.44	31	28	1	-3
阿賀野川ライン	4	45.00	11	11	1	0
第4分区(11クラブ)	4	81.30	362	370	22	8
三条	4	87.74	55	57	0	2
燕	4	63.48	33	34	1	1
加茂	4	89.51	28	29	4	1
三条南	3	92.81	51	48	2	-3
分水	4	101.59	32	32	3	0
見附	4	74.00	20	20	1	0
吉田	4	84.80	32	33	2	1
三条北	4	79.72	65	66	3	1
巻	4	80.90	9	13	0	4
田上あじさい	4	64.20	6	7	1	1
三条東	3	75.56	31	31	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	4月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	4	90.89	313	328	26	15
長岡	4	88.24	40	44	1	4
柏崎	4	87.90	42	46	0	4
長岡東	4	88.47	69	69	6	0
柏崎東	3	95.63	53	53	5	0
栃尾	4	93.90	21	21	0	0
長岡西	4	85.87	52	60	6	8
柏崎中央	3	96.19	36	35	8	-1
第6分区(6クラブ)	4	80.27	156	161	12	5
十日町	4	94.44	34	36	3	2
小千谷	4	68.76	40	40	5	0
雪国魚沼	3	70.80	24	26	3	2
十日町北	4	92.04	23	24	0	1
津南	4	80.56	27	27	1	0
越後魚沼	4	75.00	8	8	0	0
第7分区(8クラブ)	4	78.40	324	325	27	1
高田	4	97.35	61	66	0	5
直江津	4	75.32	51	50	3	-1
新井	4	75.56	32	30	3	-2
糸魚川	4	76.74	42	43	3	1
高田東	4	71.71	40	38	2	-2
糸魚川中央	4	75.00	36	33	0	-3
頸北	4	82.70	15	15	1	0
越後春日山	4	72.82	47	50	15	3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
4月末 会員数	2,138	人
女性会員数	151	人
純増減会員数	41	人
当月平均出席率	82.02	%

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2017年6月号

発行 : Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 3RC

■ 2017年国際ロータリー理事会で新ゾーン編成発表

日本のロータリークラブ会員は、ここ数年下げ止まりで微増というところですが、世界では、インド、台湾、韓国などが大きく会員数が伸びました。それを受けて、8年ごとに見直しされる世界34ゾーンの編成が国際ロータリー理事会で見直されました。それによると日本は、第3ゾーンは今までの11地区に第2ゾーンから2630地区(岐阜県・三重県)が加わり約35,300名となります。第2ゾーンは第1ゾーンから2570地区(埼玉西北)と2770地区(埼玉東南)と2790地区(千葉)2820地区(茨城)と2840地区(群馬)が加わり約35,400名となります。第1ゾーンは日本の9地区にバングラデシュとインドネシアとパキスタンが加わり約31,200名と編成されました。第1ゾーンに外国が加わっても、ロータリー研究会や他のセミナーはいままで通り日本の全地区合同で開催されます。この編成は、今年6月の国際ロータリー理事会で微調整があり、2020年までに移行が完了する予定です。

■ ゾーンとは

国際ロータリー会長指名委員と国際ロータリー理事を選出するために、国際ロータリー理事会が決めたものです。34ゾーンあり、目安の会員数は1ゾーン35,000名です。理事は17名で任期が2年、34ゾーンの奇数ゾーンからのと偶数ゾーンから交互に選出されます。現在の日本の理事は、第2ゾーンの斎藤直美理事(豊田RC)です。また、各ゾーンには国際ロータリー会長の指名により、国際ロータリー研修リーダー、ロータリーコーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターなどの委員が置かれています。

■ クラブ 会員数

Zone 1	829	28,740
Zone 2	652	28,202
Zone 3	791	32,846
合計	2,272	89,788

2017年4月30日現在のClub Centralのデータです。

第2ゾーンの数値には
GUAM, MICRONESIA, NORTHERN
MARIANAS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数 196件

2017年5月14日現在



世界同期のコーディネーター
シカゴでコーディネーターセミナー
2014年3月

今年度6月で日本のゾーンの3人のコーディネーターが任期満了となります。第1ゾーンの渡辺敏彦公共イメージコーディネーター、第2ゾーンの高野孫左エ門公共イメージコーディネーター、第3ゾーン安満良明ロータリーコーディネーターです。2014年3月一緒にシカゴで5日間の研修を受けたことが始まりでした。コーディネーターはそれぞれの部門で地区とクラブの支援が目的です。様々な地区と分区、グループでお招きいただき、ありがとうございました。皆様のお役に立てたかどうか心配です。また、次年度からは新しいコーディネーターと継続のコーディネーターがおられますので、素晴らしい方々ですので、ぜひ声をかけてください。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 安満 良明



ハイライトよねやま 206

2017年5月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 残り2カ月、よろしくお祈いします —

4月までの寄付金は前年同期と比べて9.3%減（普通寄付金0.7%増、特別寄付金14.0%減）、約1億2千万円の減少となりました。近年、毎年4月に数千万円の法人大口寄付がありましたが、今年度から当該法人については受領した株の配当金収入となり、寄付金としての扱いはなくなることが影響しています。今年度も残すところ2カ月弱となりました。普通寄付金をまだお送りいただいていないクラブがありましたら、お早目にご送金くださいますようお願い申し上げます。

博士号取得状況 — ご報告お待ちしております —

2016 学年度（2016年4月～2017年3月）に博士号を取得した奨学生・学友は34人、累計では3,598人となりました（5月10日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計をお贈りしています（奨学期間終了後の取得でも申請可）。時計裏に名前が刻まれた、世界にただ一つの時計です。博士号を取得した奨学生・学友は、米山事務局と世話クラブに報告してください。

※発送先は原則として世話クラブです。ぜひ世話クラブ例会で贈呈してください。

申請方法

「学位記の写し」が「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。
FAX : 03-3578-8281/メール : scholars@rotary-yoneyama.or.jp



今夏、熊本に集まりませんか？ — 感謝 in 熊本 —

2017-18年度は
財団設立50周年



ロータリー米山記念奨学会は今年7月、財団設立50周年を迎えます。これを記念して、世界の米山学友が集まり50周年の節目を祝う「感謝 in 熊本」が開催されることになりました。

米山学友合同会実行委員会（実行委員長 何玉翠氏）主催、第2720地区米山記念奨学委員会と同地区学友会がホスト、当会の後援によるイベントです。現役の米山奨学生、国内外の学友はもちろん、ロータリアンや家族の参加も歓迎いたします。ふるってご参加ください！

- 日時:** 2017年8月26日(土) 午後17時～21時(式典&懇親会)
- 場所:** A N Aクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
- 登録料:** ロータリアン1万円、米山学友・奨学生5千円、一般友人・家族6千円
- 申込:** 日本国内在住の方は米山学友合同会へメール送信し指定口座へ振込
- 締切:** 2017年7月31日(状況により変動する場合があります)

※ご希望の方には申込用紙・チラシをお送りします。
また、詳細情報を後日、米山奨学会ホームページでご案内します。



帰国学友歓迎会で奨学生 2 期生を紹介—韓国米山学友会—

韓国米山学友会がソウル市内で 4 月 15 日、今年韓国へ帰国した学友の歓迎会を開きました。この行事は毎年恒例で、今年は新入会員 3 人を含む 30 人が参加しました。

当日は、韓国学友会と、同学友会を母体として昨年創立された韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブが協同で支援する、日本人奨学生第 2 期生への奨学金授与も行われました。この制度は、韓国で学ぶ日本人留学生に奨学金を支給し、学友がメンター（カウンセラー）とな

って留学生生活を支援するもので、昨年からスタート。親交の深い台湾米山学友会が 2009 年から実施する「日本人若手研究者対象奨学金」がモデルとなっています。奨学金の原資は、韓国学友会からの寄付が主ですが、今年は、韓国ロータリーの関係団体など新たな賛同者からの寄付も増え、昨年



日本人奨学生とそのメンターとなる学友を囲んで

より 1 人増員して、3 人の日本人奨学生が採用されました。歓迎会では、奨学生 3 人とメンターに就く学友が紹介され、メンバーたちから温かい拍手が送られました。

韓国米山学友会および韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブの副会長であり、日本人奨学生の選考委員を務める鄭亨在さん（2011-12/本荘 RC）は、「日本のロータリアンの皆さんから頂いた恩恵に感謝すべく、今後も日本人留学生への支援と協力を拡大していきたい」と、メッセージを寄せてくれました。



台中文心 RC が創立 10 周年記念式典を開催

4 月 22 日、台湾・台中市内のホテルで、台中文心 RC の創立 10 周年記念式典が開催されました。

同クラブは、2007 年に台中の米山学友を中心に発足。初代会長を郭錦堂さん（1984-86/相模原中 RC）、第 2 代会長を王飛龍さん（1984-87/東京神田 RC）が務め、今年度クラブ会長を務めるのも、学友の何淑鈴さん（1984-85/東京城東 RC）です。

何さんによると、創立時 32 人だった会員は、この 10 年で 61 人と倍増。米山学友の創立会員 8 人のうち、結婚、出産や海外転勤などで 4 人が退会する

も、日本からゲストを迎える際には通訳に駆けつけるなど、クラブとの繋がりは続いているそうです。同クラブでは、台湾の高山部集落への水道設置や、貧困児童・学生への IT 教育支援などの奉仕活動に尽力するほか、台湾米山学友会の「日本人若手研究者対象奨学金」に毎年定額を寄付して協力しています。記念式典には、学友会のメンバーも駆けつけ、喜びを分かち合いました。

この 10 年を振り返り、「ロータリーに入会してから、いろいろ勉強させていただき、社会に奉仕できることを光栄に思っています」と語る何さん。今年度は、新たに相模原中 RC（神奈川県）と友好クラブを締結し、今後一層の国際奉仕、国際親睦活動に励みたいと、意欲を新たにしています。



記念式典に駆けつけた台湾米山学友会メンバーらと

米山梅吉記念館便り

シリーズ 10 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、大正6年(49歳)に目賀田種太郎委員長の政府特派財政経済委員に任命されました。一行はサンフランシスコ到着後、セントルイス、シカゴ、ニューヨーク、ワシントンなどで、朝野の要人と交流をかさねましたが、米山は一人「南方に旅行し日米綿花に関し将来の発展に就き取調べをなしたること」のためにダラスに向かい、大正7年



帰国後大正天皇に拝謁、下賜された金杯

の元旦を福島喜三次と共にしました。福島家のサイン帳には「はからずも御親切になり此地に新年を迎へ候を永く記念すべく候 大正7年1月元旦 米山梅吉」と記され、俳句3首を残しています。福島は当時ダラスRC会員でしたから、ロータリーの話もしたのではないかと推測されています。

米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101

URL <http://yoneyama-umekichi.jp>

Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

[開館時間] 午前10時～午後4時

[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の足音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

文庫通信 (357号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎ 「もっと世界を見つめ直ほそう」 千 玄室 [2016] 6p (D.2640地区大会記録誌)
- ◎ 「まとめと提言」 黒田正宏 2017 3p (ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案)
- ◎ 「私の信奉するロータリー」 松宮 剛 2017 10p
- ◎ 「ロータリーはどこに行く?～日本のロータリー100周年に向けて」 本田博巳 2017 10p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎ 「ロータリーを解り難くしているもの」 大重勝弘 2017 1p (D.2730月信)
- ◎ 「職業奉仕・Vocational Service」 2017 2p (D.2730月信)
- ◎ 「2016年規定審議会における職業奉仕の変更点」 2017 2p (D.2650月信)
- ◎ 「規程審議会決定に対する日本ロータリーの統一の見解について」 富田英壽 2017 4p (D.2700月信)
- ◎ 「ロータリー考『例会の頻度』」 岡部一輝 2017 2p (D.2610月信)
- ◎ 「ロータリーの新しいゾーン構成が決まる」 2017 2p (D.2650月信)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日